super CRONO

wireless

power fluid

hydro mag

power mag

8 LEVELS

hydro mag digital

スーパークロノシリーズ
日本語取扱説明書

SUPER CRONO WIRELESS
SUPER CRONO HYDRO MAG
SUPER CRONO HYDRO MAG DIGITAL
SUPER CRONO POWER FLUID
SUPER CRONO POWER MAG

カワシマサイクルサプライ

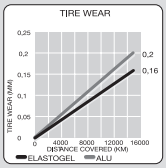
ELITE
www.elite-it.com

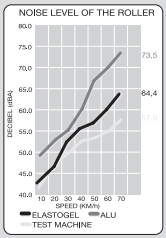
『エラストゲル』はエリート社とバイエル社の共同開発により誕生しました。トレーナーの負荷ローラーに搭載されるテクノポリマー製の『エラストゲル』には以下のアドバンテージがあります。

•騒音を50%低減（dB換算*）
•タイヤと負荷ローラーのグリップ力を向上
•タイヤの磨耗を20%低減
•振動の低減と実走感の向上

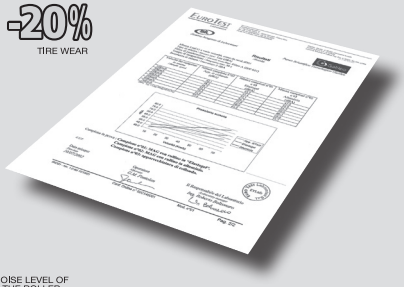
特別な製造工程を経た『エラストゲル』により、耐磨耗、溶剤や油分への耐性を備えながら、高い弾力性を実現しています。

***dB デシベル　について**
不快な騒音は空気中を瞬間的に伝わる空気の高速の振動です。この振動は圧力変動を繰り返す音波であり、デシベル(dB)という単位で計測されます。騒音レベルで例えれば、60dBの音は50dBの音の10倍以上になります。





-20% TIRE WEAR



-50% NOISE LEVEL OF THE ROLLER

目次

- 重要事項 3
- 商品の確認（各モデル共通） 3
- フレームの組立て（各モデル共通） 4
- 負荷ユニットへの電池取付け（ワイヤレス） 4
- 負荷ユニットの組立て（各モデル共通） 4
- 自転車の取付け（各モデル共通） 5
- 自転車の取外し（各モデル共通） 8
- 重要な注意事項（各モデル共通） 9
- アドバイス（各モデル共通） 9
- 負荷調節コントロールレバーの取付け（パワーマグ、ハイドロマグ） 10
- コンピュータ及び負荷調節レバーの取付け（ハイドロマグデジタル） 10
- ワイヤレス コンピュータ及びレシーバーの取付け（ワイヤレス） 11
- コンピュータの使用方法（ハイドロマグデジタル、ワイヤレス） 11
- ディスプレイ画面のみかた（ハイドロマグデジタル、ワイヤレス） 12
- 電池について（ハイドロマグデジタル、ワイヤレス） 12
- コンピュータと負荷ユニットの同期（ワイヤレス） 13
- トラブルシューティング（ハイドロマグデジタル、ワイヤレス） 13
- ディスプレイ各画面（ハイドロマグデジタル、ワイヤレス） 14
- トレーニング中利用可能なデータ（ハイドロマグデジタル、ワイヤレス） 14
- パーツリスト：パワーマグ 15
- パーツリスト：パワーフルード 15
- パーツリスト：ハイドロマグ 16
- パーツリスト：ワイヤレス 16
- 品質保証規定 17

エリート スーパークロノ シリーズをご購入いただき誠にありがとうございます。

⚠ 重要 ⚠

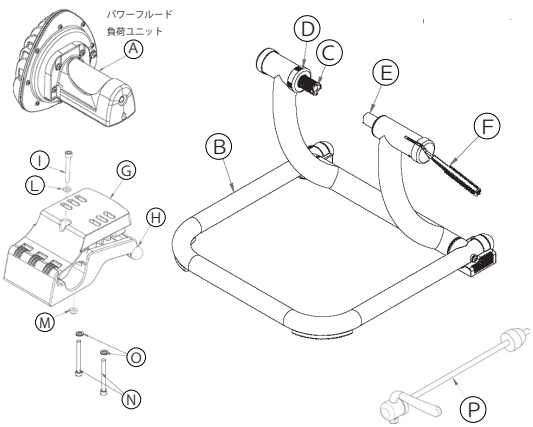
走行中は決してブレーキを使用しないで下さい。エラストゲルローラー（タイヤが接触して回転する赤いローラー部）とタイヤに致命的なダメージを与えます。

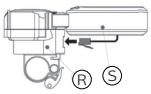
商品の確認

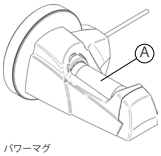
外箱から部品表にある部品を取り出して、すべて揃っているかを確認してください。
万が一不足がある場合は、すぐにご購入になられた販売店へご連絡ください。

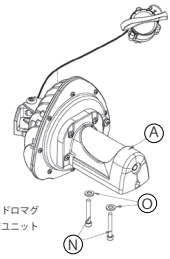
スーパークロノ シリーズ 部品表

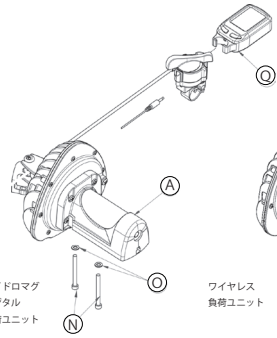
1 x　各モデル負荷ユニット　図A
1 x　フレーム　図B
1 x　左サポートカップ　図C
1 x　リング　図D
1 x　右サポートカップ　図E
1 x　コントロールレバー　図F
1 x　ユニットサポートベース（上）　図G
1 x　ユニットサポートベース（下）　図H
1 x　M6 x 45mmネジ　図 I
1 x　Ø6mmワッシャー　図L
1 x　M6ナット　図M
1 x　アクセサリーバッグ
1 x　六角レンチ
2 x　M6 x 55mmネジ　図N
1 x　Ø6mmワッシャー　図O
1 x　クイックリリース　図P
1 x　コンピュータ　図Q（ハイドロマグデジタルのみ）
1 x　レシーバー　図R（ワイヤレスのみ）
1 x　ワイヤレスコンピュータ　図S（ワイヤレスのみ）
1 x　トラベルブロック　（ワイヤレスのみ）

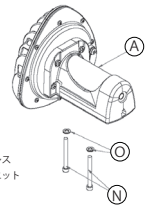












フレームの組立て

・フレームを開いて床に置きます。
・ユニットサポートベース（下） 図H とユニットサポートベース（上） 図G を フレームに挟み込みます。（図1）次にフレームの位置決めステッカーの表示にあわせてユニットサポートベースを移動します。（図2）ネジ図Ｉ、ワッシャー図L、ナット図Mを使用してネジを締めユニットサポートベースをフレームに固定します。（図3）

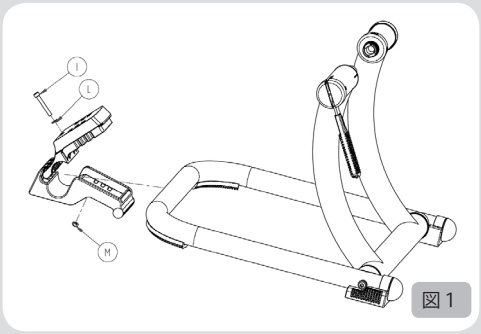


図1

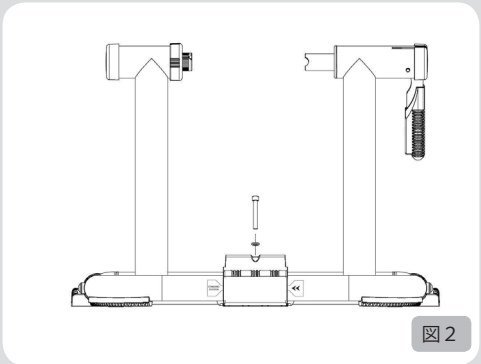


図2

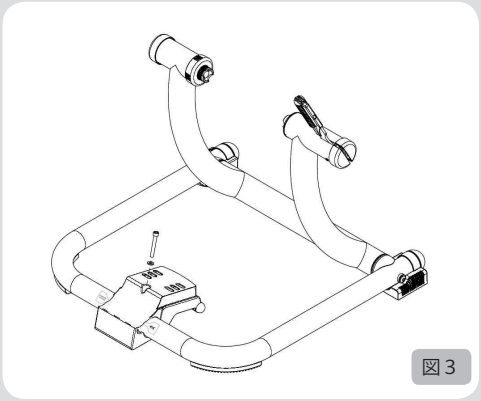
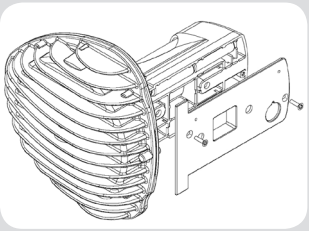


図3

【ワイヤレス】
負荷ユニットへの電池の取り付け

1 負荷ユニットを外箱から取り出し、下側を上に向けて平らなところに置きます。重量がありますので取扱に気をつけてください。
2 負荷ユニットの底面のパネルを固定している2箇所の+ネジを緩めてパネルを取り外します。負荷ユニットに表示されている電池の向きに合わせて単3電池2個を取り付けます。
3 元通りにパネルを閉め、2箇所の+ネジを締め固定します。



負荷ユニットの組立て

図4のように、ユニットサポートベースにネジ図Nとワッシャー図Oを使用して負荷ユニットを固定します。
（イラストはハイドロマグを例にしています）

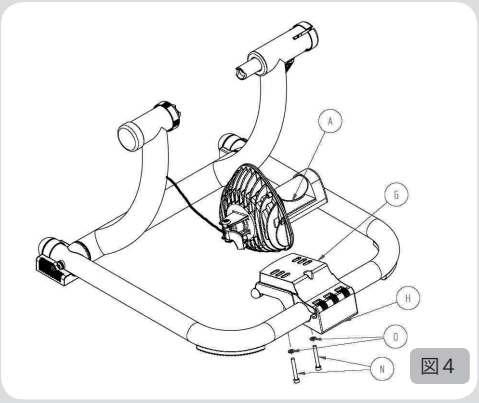


図4

・ユニットサポートベース図Gには３ペアのねじ穴が開いています。使用する自転車のホイールサイズに応じて以下の通りねじ穴の位置を選択してください。

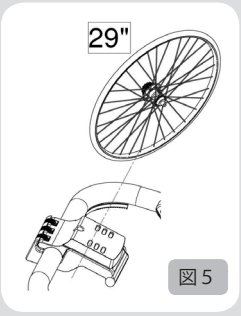


図5

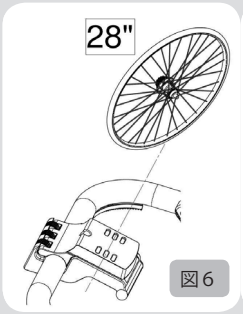


図６

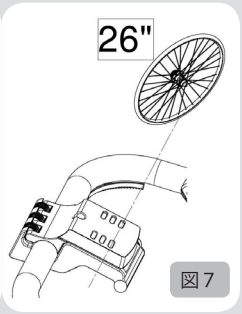


図７

図５　２９インチサイズのホィール
図６　２８インチもしくは７００Ｃサイズのホィール
図７　２６インチサイズのホィール

図８のようにＮのネジを締めます。

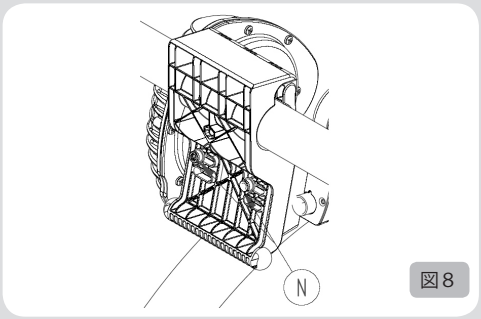


図８

自転車の取付け

・後輪のクイックリリースが適切に固定されているか確認してください。
・図9のように、図Fのレバーを"OPEN"の位置に動かしてください。

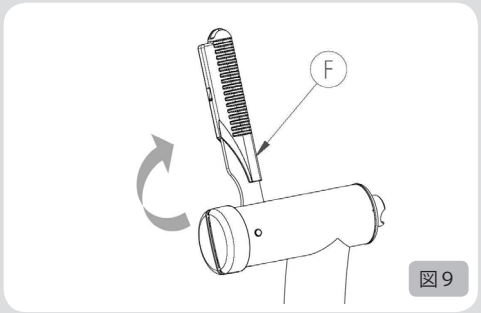


図９

・図10 のように図Ｄを緩めてください。

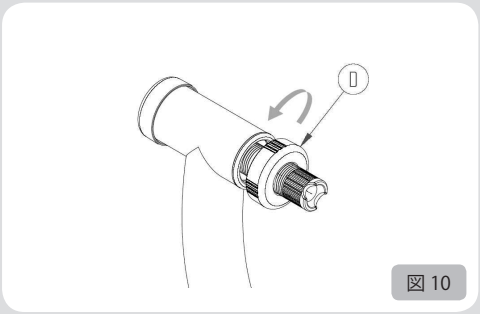


図 10

・図11のように、後輪左側のクイックリリースを図Ｃの左サポートカップに挿入します。挿入する前に、図12のようにクイックリリースのレバーが水平になるように閉めてあることを確認してください。クイックリリースのレバーがフレームと干渉する場合には、

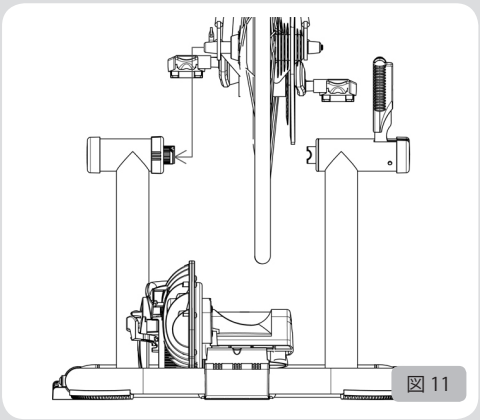


図 11

図12のようにフレームと干渉せずに確実に固定できる方向にクイックリリースを閉めてください。挿入するときはクイックリリースのレバーとサポートカップの切り欠きの位置が合うように取り付けてください。

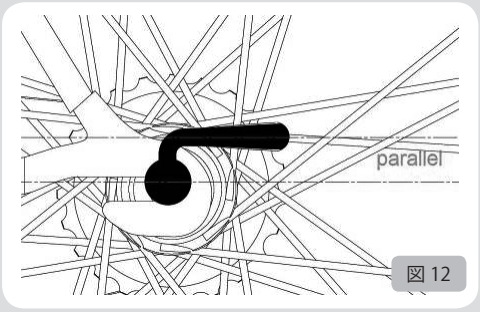


図 12

図12の位置でフレームに接触するようであれば、フレームに当らない任意の位置でしっかり固定してください。

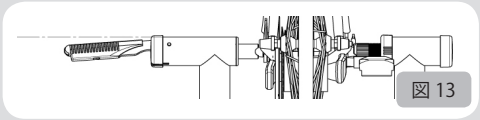


図 13

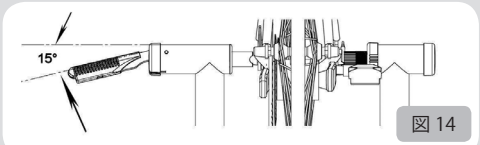


図 14

・図Fのコントロールレバーを閉じます。そのとき図13、図14のように、レバーの角度が0°～15°の間で締め込みの圧力がかかり始めることを確認してください。

・図15のように、図Fのコントロールレバーを閉めるときに0°よりも手前の位置から締め込みの圧力がかかり始めるときには、一度自転車をフレームから取り外し、

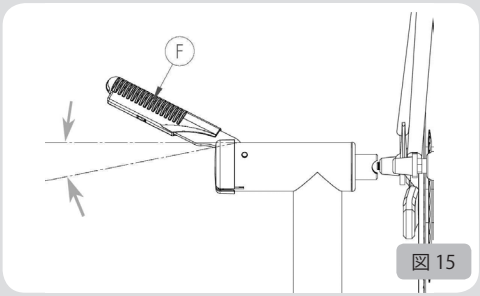


図 15

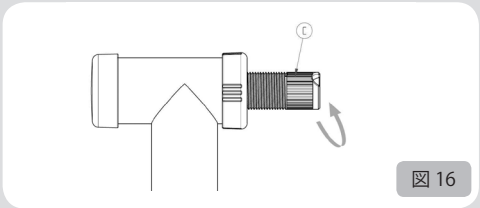


図 16

図16のように図Ｃの左サポートカップを回転させて、レバーの角度が0°～15°の間で締め込みの圧力がかかり始めるように調節してください。

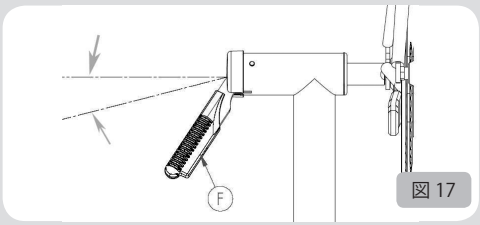


図 17

・図17のように、図Fのコントロールレバーを閉めるときに15°よりも奥の位置から締め込みの圧力がかかり始めるときには、一度自転車をフレームから取り外し、図18のように図Ｃの左サポートカップを回転させて、レバーの角度が0°～15°の間で締め込みの圧力がかかり始めるように調節してください。

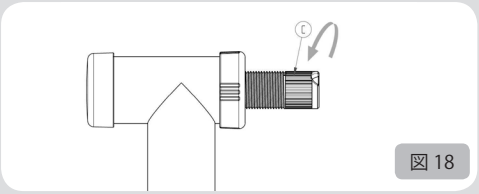


図 18

・図Ｃの左サポートカップの位置を適切な位置に調節させた後、左サポートカップが共回りしないように押さえながら、図19のように図Ｄのリングを締めます。再度自転車を図11のようにフレームに取り付けます。

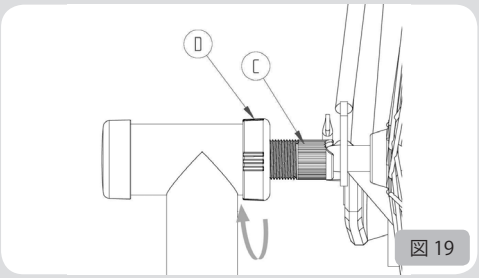


図 19

・図20のように、図Fのコントロールレバーを"CLOSE"の位置に移動させます。このとき図21のように手のひらを使ってください。図22のようにコントロールレバーを握るとレバーが閉じたときに指が挟みこまれるおそれがあります。

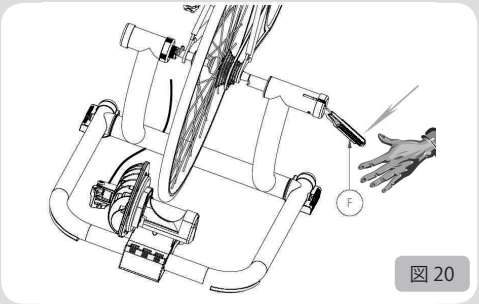


図 20

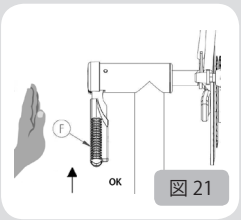


図 21

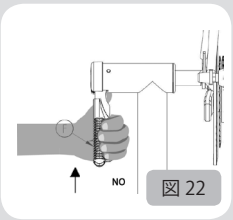


図 22

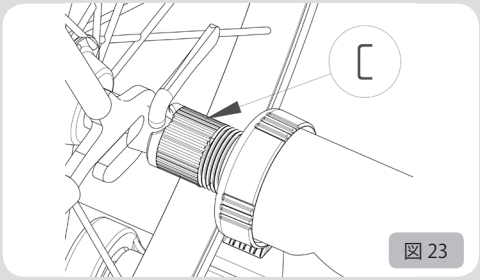


図 23

•図23のようにクイックリリースレバーが図Cの左サポートカップの溝に収まっている事を確認してください。

・図24のように、後輪の位置が図Aの負荷ユニットのエラストゲルローラーの中心からずれている場合には、一旦自転車を取り外してから図Nのネジを緩め、図26、図27のように負荷ユニットを適切な位置に移動させてから、図Nのネジを再度締めます。

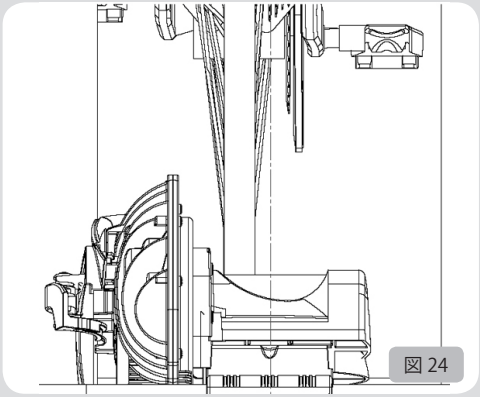


図 24

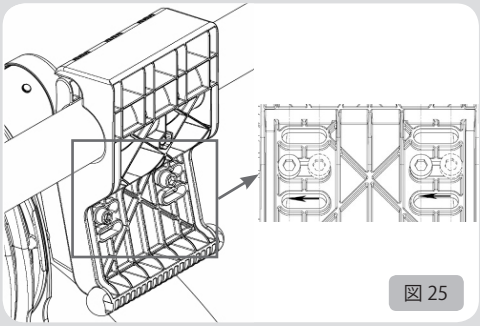


図 25

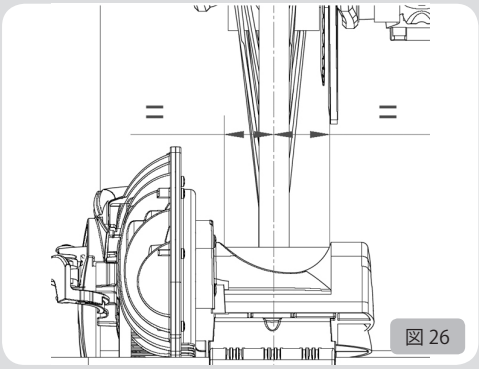


図 26

・前項の方法で負荷ユニットのエラストゲルローラーの中心に後輪が移動できない場合には、図27、28、29のように図G, Hのユニットサポートベースを固定しているネジを緩め、適切な位置で再度ネジを固定します。

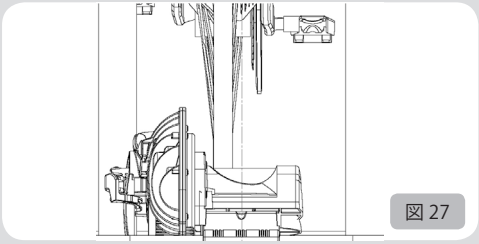


図 27

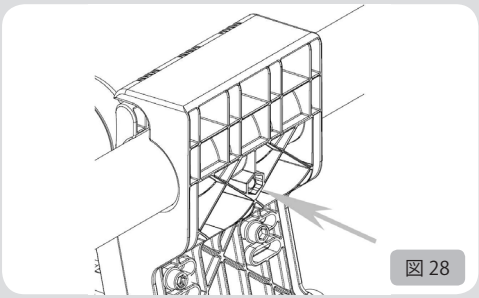


図 28

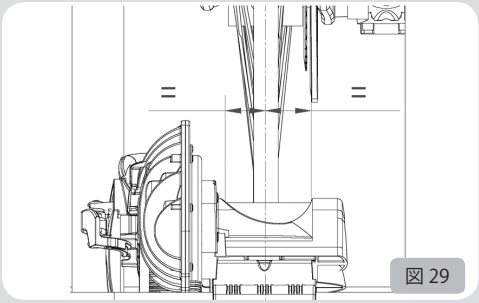


図 29

・自転車をフレームに固定したら、図30のように後輪が負荷ユニットのエラストゲルローラーに接触するまでサドルをトレーナーの方向へ押します。

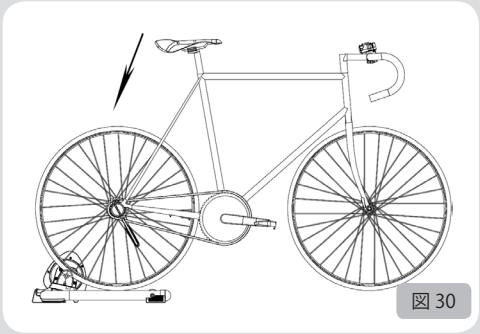


図 30

・フレームのトップチューブとサドルを持って揺すってみて自転車が安定しているか確認します。自転車がしっかり固定されていなければ、クイックリリース及びレバーが適切な位置で固定されていること、図Fのコントロールレバーが"CLOSE"の位置にあること、図13、図14のように、レバーの角度が0°～15°の間で締め込みの圧力がかかり始めることを確認してください。

※パワーマグ、ハイドロマグ、ハイドロマグデジタル、ワイヤレスをお買い求めいただいた方は、10ページ以降のそれぞれのモデルに対応する説明箇所もご覧ください。

自転車の取り外し

・ハンドルバーから負荷レベル調整リモートコントロールレバーを取り外します。
・片手で自転車を保持したら、もう片方の手で図35のように図Ｆのレバーを開いて"OPEN"の位置に移動させ、自転車を取り外します。

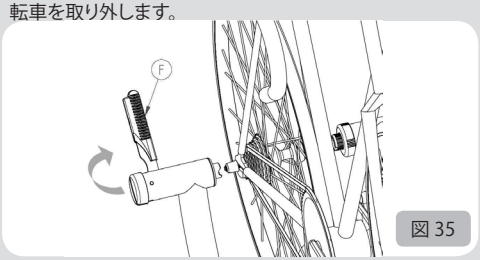


図 35

・運搬、収納の際には図36のように図G、Hのユニットサポートベースを回転させ、フレームの上部を図37のように回転させます。

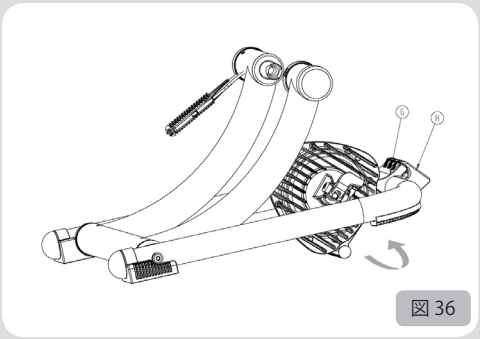


図 36

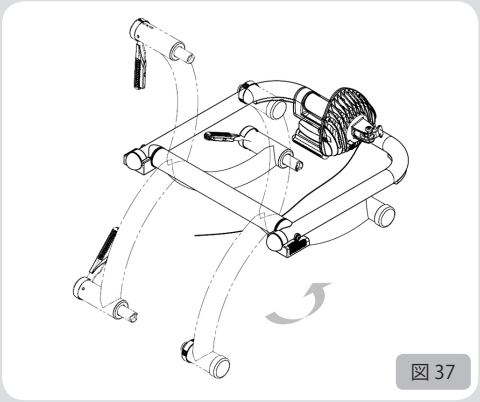


図 37

◆重要な注意事項◆

» トレーナーを使用すると負荷ユニットは発熱して高温になります。トレーニング終了後、負荷ユニットが冷めるまでは負荷ユニットに触れないで下さい。
» **トレーナー使用中は絶対にリアブレーキを使用しないでください。リアブレーキを使用した場合、ローラーとタイヤに深刻なダメージを与える場合があります。**
» 負荷レベル調整リモートコントロールレバーは、必ずトレーナーを使用しながら操作してください。負荷ユニットが回転していない状態で操作すると、コントロールケーブルが切れたり負荷レベル調整リモートコントロールレバーが破損する恐れがあります。
» この製品は「ひとり乗りの自転車」専用です。
» トレーナーを使用する前には自転車及びトレーナーが安定しているかよく確認してください。
» **トレーナーに装着する自転車の後輪のクイックリリースは必ず付属の図P クリックリリースに交換してから使用してください。**
» トレーナーを湿った場所、濡れている所で使用または保管しないでください。これによりフレームや負荷ユニット、コンピュータの電気回路にダメージを与える恐れがあります。
» コンピュータは防水、耐水構造ではありません。水分が付着したり内部に入ると電気回路にダメージを与えます。特にトレーニング中に汗などで濡らさないよう注意してください。水濡れによる故障は保証の対象外になります。
» フレーム、負荷ユニット、コンピュータ、レシーバーは分解しないでください。分解された場合にはいかなる場合にも保証修理は受けることができなくなります。
» フット部分は滑らないよう柔らかい素材で作られていますので、場合によっては床を黒く汚す場合があります。
» トレーナーの通常使用において、後輪が接触するエラストゲルローラーにわずかに黒い磨耗痕がつくのは正常です。エリート社のテストでは、連続した20,000kmの走行後でローラーの磨耗は0.1mm前後でした。ローラーの厚みは17.5mmあり、使用方法を守った使用での磨耗は問題ありません。誤った使用方法や適切でない操作による不具合、消耗は保証の対象外になります。
» 細すぎるタイヤや適正でない空気圧で使用するとエラストゲルローラーを消耗させます。
» ペダルへの入力を徐々に行いスリップしないようにしてください。スリップを繰り返すとエラストゲルローラーに致命的なダメージを与えます。

アドバイス

» トレーナーで使用するタイヤ幅は23mmが最適です。タイヤの磨耗が少なく、エラストゲルローラーとのグリップも適切になります。
» タイヤの空気圧はロード用で7-8気圧、MTB用で3.5-4気圧が最適です。使用されるタイヤによっては、タイヤメーカーの指示する空気圧でご使用ください。
» タイヤはスリックタイヤを使用してください。タイヤ表面にパターンや模様の無いスリックタイヤを使用するとグリップが高まり、静粛性が向上、振動が減少します。MTBは必ずスリックタイヤでご使用ください。
» 使用前にタイヤをアルコールまたは水を使用してクリーニングしてください。
» 図40のように、クイックリリースのピンがナットから3mm以上飛び出している場合には、飛び出した先端部分を切断してください。切断作業については購入店にご相談下さい。

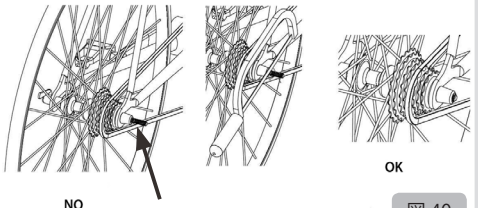


図 40

【パワーマグ】【ハイドロマグ】
負荷調整コントロールレバーの取り付け

・図32、図33のように必ずリモートコントロールケーブルがフレームの外側を通るようにして、図31のように負荷レベル調整リモートコントロールレバーをハンドルバーに取り付けてください。

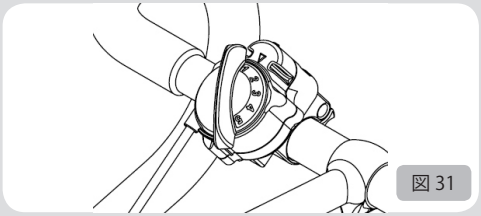


図 31

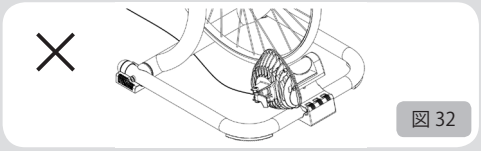


図 32

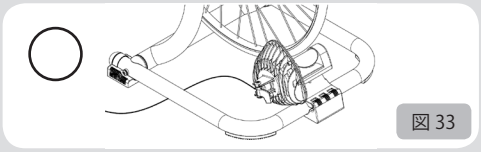


図 33

・ハンドルバーの直径とレシーバーのクランプ部の直径が合わない場合には、図34のようにブラケットに装着されているゴム製のシムを適宜取り外して下さい。

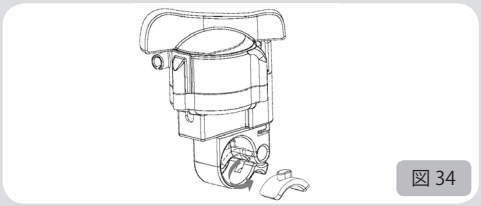


図 34

・これでトレーニングを開始することが可能になりました。ハンドルバー上の負荷レベル調整リモートコントロールレバーで負荷を最少（レベル１）から最大（レベル5）まで変化させる事ができます。

» 負荷レベル調整リモートコントロールレバーは、必ずトレーナーを使用しながら操作してください。負荷ユニットが回転していない状態で操作すると、コントロールケーブルが切れたり負荷レベル調整リモートコントロールレバーが破損する恐れがあります。

【ハイドロマグデジタル】
コンピュータ及び
負荷調整コントロールレバーの取り付け

・コンピュータと負荷調節レバーを取り付けます。(図35を参照)

図 35

・図36のようにコンピュータ背面のケーブルをブラケットに接続します。

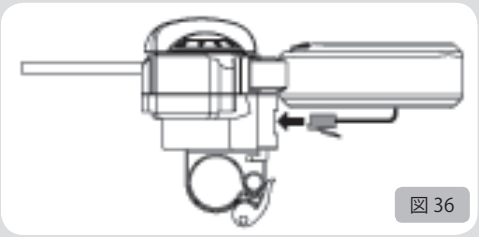


図 36

・図37のように負荷ユニットのハウジングから出ている速度センサーケーブルのプラグを負荷調整レバーの根元に接続します。

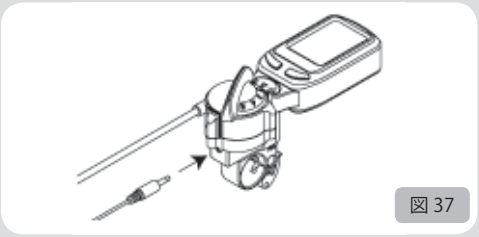


図 37

・これでトレーニングを開始することが可能になります。ハンドル上に装着された負荷調節のリモートコントロールレバーを操作して負荷抵抗を変更し、液晶ディスプレイでトレーニングのデータをすべて確認できます。

» 負荷レベル調整リモートコントロールレバーは、必ずトレーナーを使用しながら操作してください。負荷ユニットが回転していない状態で操作すると、コントロールケーブルが切れたり負荷レベル調整リモートコントロールレバーが破損する恐れがあります。

【ワイヤレス】
コンピュータ及びレシーバーの取り付け

・図Sのコンピュータの背面の電池フタを取り外し、プラスマイナスの表記に合わせて単3電池2本を入れます。製品に付属する電池は動作確認用のため残量が少ない場合があります。その場合には別途新品の電池をご用意ください。

・図38のようにコンピュータとレシーバーを取り付けます。図Sのコンピューターとの取り付け部が前方に来る向きに取り付けてください。

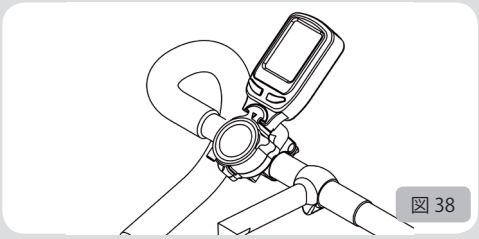


図 38

・図39のようにコンピュータ背面のケーブルをレシーバーに接続します。

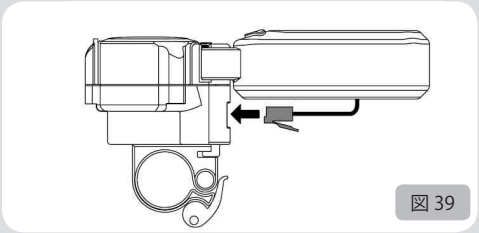


図 39

・レシーバーのクランプ部がハンドルバーに適切に固定されていることを確認してください。トレーナーの使用中にコンピュータのディスプレイが見やすい角度に調整してください。クランプ部の直径が合わない場合には、図34と同様にレシーバーに装着されているゴム製のシムを適宜取り外して下さい。

【ハイドロマグデジタル】【ワイヤレス】
コンピュータの使用方法

電源を入れる

・コンピュータのボタンを押してもディスプレイに何も表示されない場合には、電池が装着されているか、正しい向きで装着されているか、電池の残量は十分にあるかどうか確認してください。

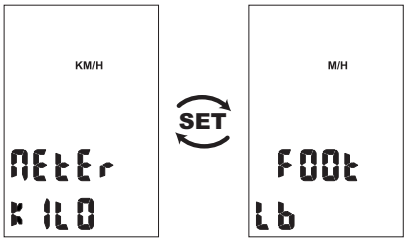
・コンピュータの背面にON、OFFのスイッチがある場合にはONにあることを確認してください。

・コンピュータの背面にスイッチが無い場合には、ディスプレイの下にあるどちらかのボタンを押してください。

コンピューターのセットアップ

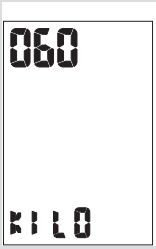
最初にあなた個人のデータをコンピューターに登録します。セットアップ画面を立ち上げるにはMODEボタンを3秒以上押し続けます。液晶画面下部にSETUPと表示されれば登録作業が可能になります。

注意：速度がゼロの場合のみセットアップ画面を立ち上げる事ができます。



単位選択の画面

最初にSET ボタンを押して、メートルとインチの測定単位を選択します。SETボタンを押すごとに、ディスプレイの表示がMETER（メートル）・KM/H（時速）・KILO（キログラム）とFOOT（フィート）・M/H（マイル毎時）・LB（ポンド／オンス）が切り替わります。測定単位を選択したら、MODEボタンを押して次の画面へ進みます。



ディスプレイ左上に表示される3桁の数値はライダーの重量（体重＋バイクの重量）です。前画面で選択した測定単位がディスプレイ左下に表示されます。表示されている重量は、メーカー出荷時の数値もしくは前回に入力した数値です。最初に一の位が点滅します。点滅している桁の数値はSETボタンを押すごとに0～9へ変わります。数値を合わせたらMODEを押し、十の位へ移動します。十の位の数値が点滅したらSETボタンを押し、数値を合わせます。MODEを押し、百の位へ移動します。3桁の数値を合わせたら、MODEを押して、次の画面へ進みます。

負荷ユニットのタイプを選択します。**スーパークロノハイドロマグデジタルではタイプ"2"を選択**します。通常この数値は既に入力されていますが、"2"以外の数値になっている場合には"2"になるまでSETボタンを押して修正してください。**スーパークロノワイヤレスでは同様にタイプ"3"を選択**してください。

注意：タイプを間違うと、ディスプレイに表示される数値が正確に表示されません。

コンピュータのセットアップの例：

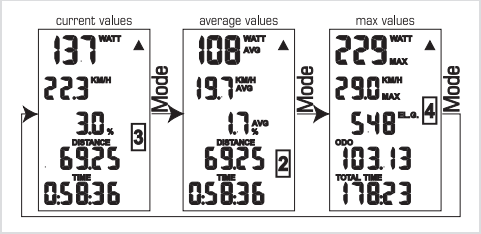
測定単位をキログラム・メートル・キロメートル・体重78kg；タイプ1と入力したい場合は次のステップに従ってください。：

セットアップ画面を立ち上げるために、MODEボタンを3秒以上押します。

SETボタンを押して、METER・KILO・KM/Hが表示されるようにします。

MODEボタンを押します。ディスプレイ左上の数値の点滅する一の位が"8"と表示されるまでSETボタンを押します。

MODEボタンを押します。点滅する十の位が"7"と表示されるまでSETボタンを押します。
MODEボタンを押します。点滅する百の位の数値が"0"と表示されるまでSETボタンを押します。
MODEボタンを押します。タイプ設定の画面で"1"が表示されるまでSETボタンを押します。
MODEボタンを押します。以上でセットアップが完了します。



【ハイドロマグデジタル】【ワイヤレス】ディスプレイ画面のみかた

トレーニング中に利用可能な３つ（現在値・平均値・最大/積算値）の異なる画面があります。各画面には６つのデータが表示されます。上図のように、３つの画面はMODEボタンを押すことで画面を移動することができます。

スタートのしかた

コンピュータのSETボタンまたはMODEボタンを押すと画面表示が点灯し、ペダルをこぐと測定がスタートします。

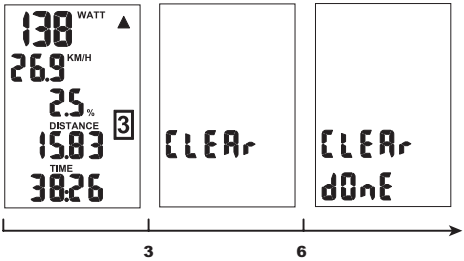
トレーニング終了のしかた

トレーニングセッションの終わりには、パワーと速度の最大と平均値、獲得高度、積算時間を確認できます。再スタートすると同じセッションの一部としてデータは更新されます。
トレーニングを終えたら：
・コンピュータ背面にスイッチがある場合には、"OFF"にします。
・コンピュータ背面にスイッチがない場合には、ケーブルをレシーバーから抜きます。トレーニングを終えてから約2分後に自動的に電源が切れます。

データの消去

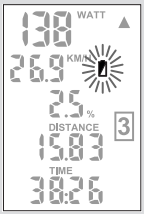
2分間コンピュータの操作やペダルを踏むことがない無活動の時間が経過すると、ディスプレイの画面表示が消えてスタンバイモードになります。スタンバイモードになっても、それまでに記録したすべてのデータは記憶されます。
データを消去して新しいトレーニングを開始する場合には、クリア操作をします。
クリア操作はSETボタンを6秒以上押します。
注意：速度がゼロの時のみクリア操作が可能になります。
右図のように、SETボタンを押すと、最初の3秒間は画面表示は変わりません。3秒を過ぎると画面にCLEARの文字が表示されます。CLEARの文字が表示されている間にボタンを離せば、クリア操作は中止されます。SETボタンを6秒間押し続けると、画面にCLEAR DONEの文字が表示されます。これはクリア操作が完了したことを表示します。ボタンを離してください。

※データの消去操作をしますと、消去したデータを基に戻すことは出来ませんのでご注意ください。



データ消去操作画面

【ハイドロマグデジタル】【ワイヤレス】電池について



スーパークロノハイドロマグデジタル、スーパークロノワイヤレスのコンピュータは単３アルカリ乾電池2本を使用します。
電池の消耗を防ぐため、ハイドロマグは図37でブラケットに接続した速度センサーケーブルは取り外してください。
ワイヤレスの場合は、レシーバーに接続されたケーブルを抜いてください。

最も良い条件では、新品のアルカリ乾電池を使用した場合コンピュータは約300時間使用することができます。1.5ボルト以外の充電池は使用できません。

コンピュータの電池が消耗しはじめると、画面に電池アイコン（ ）が点滅します。トレーナーの使用中電池の残量が完全に無くなり、場合によってはデータが消滅してしまうのを防ぐために、電池の残量がある状態でアイコンが点滅しはじめます。

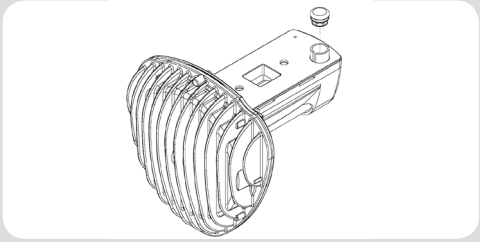
コンピュータの電池が完全に無くなると、画面表示が消えますが、それまで記録されたデータは保持されます。電池交換によりデータが消滅することはありません。（まれにデータが消滅する可能性があります。）このデータ保存機能により、長期間使用しなくてもデータが消滅することはありません。ワイヤレスの負荷ユニットに内蔵される無線送信機は単３アルカリ乾電池2本を使用します。無線送信機はローラーが回転している間だけ自動で作動・停止し電力を消費します。無線送信機には電源スイッチはありません。

注意：使用済みの乾電池はお住まいの地域で指定された方法で廃棄してください。環境に害のある方法で廃棄しないでください。

【ワイヤレス】
コンピュータと負荷ユニットの同期

同時に複数台のスーパークロノワイヤレスを使用する場合には、データの混信を避けるためにそれぞれのトレーナーのコンピュータと負荷ユニットを同期させる必要があります。単独で使用する場合にはこの作業は必要ありません。

同期の方法：
1. ベースフレームから負荷ユニットを取り外します。
2. 負荷ユニット底面にある高さ1cm程の円筒形の突起のフタを外します。突起のフタを外すと、内部に小さなボタンがあります。
3. コンピュータの電源を切ります。（コンピュータにスイッチがある場合には"OFF"にします。スイッチが無い仕様の場合は無活動の状態で2分以上待ちます。）
4. コンピュータの電源を入れます。（コンピュータにスイッチがある場合には"ON"にします。スイッチが無い仕様の場合はSETまたはMODEボタンを押して画面表示を点灯させます。
5. コンピュータの電源を入れてから15秒以内に負荷ユニット底面の突起の中にあるボタンを2回押します。ボタンは狭いところにあるので、ボタンに手が届きにくい場合にはえんぴつなどを使用してください。
6. コンピュータと負荷ユニットの同期がとれた場合には、ディスプレイ画面の左上に数秒間、999という数値が表示されます。
これでコンピュータと負荷ユニットの同期が完了です。これによりデータの混信が防げるようになります。一度同期をとれば、電池を交換しても設定は保持されます。



【ハイドロマグデジタル】【ワイヤレス】
トラブルシューティング

1. ペダリングを開始しても、速度とパワー（ワット数）表示が0のまま変わらない。
負荷ユニットにあるセンサーからの情報がコンピューターに届いていません。速度センサーのプラグがきちんと接続されているかどうか確認してください。ワイヤレスの場合は、「コンピュータと負荷ユニットの同期」があっているかどうかもご確認ください。

2. コンピュータに表示されるデータはすべて正しいが、負荷レベルの表示が負荷調整レバーを操作しても変わらない。
負荷調整レバーからの情報がコンピューターに届いていません。コンピュータからレバーまでのケーブルがきちんと接続されているかどうか確認してください。

3. 傾斜度の値が昨日と違う。
傾斜度の数値は重量に関係しています。新しいライダーの重量を入力すると傾斜度の数値は自動的に変化します。

4. コンピュータの勾配表示が異常に高い
取扱説明書の「コンピュータのセットアップ」の項を参照して、ライダーの正しい重量を入力してください。傾斜度の数値はライダーの重量に反比例しています。重量が過少であれば勾配が間違って算出されます。

5. 速度が実際よりも高い、または他の数値が実際とは異なっている。
コンピュータのタイプ設定が間違っている可能性があります。取扱説明書の「コンピュータのセットアップ」の項を参照して負荷ユニットのタイプをハイドロマグデジタルの場合は"2"、ワイヤレスの場合は"3"に設定してください。

6. 負荷強度が使用途中で変化する
負荷ユニットは、ユニットが冷えた状態と、使用中で内部が温まっている状態では、同じ負荷レベルを選択していたとしても負荷強度は変化します。ウォームアップ後にはほぼ一定の負荷強度になります。

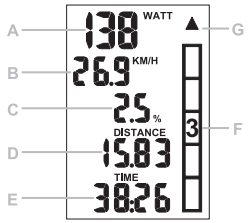
7. コンピュータのワット表示が、パワータップなどの他のワット測定機器と異なる値を表示する
ハイドロマグデジタル、ワイヤレスのワット数表示は、速度と重量を基にしたコンピュータによる計算値ですので、実際の出力値とは異なる場合があります。

8. 表示される速度が短時間の間に突然上下する
周囲の電磁波が干渉している可能性があります。スーパークロノワイヤレスのコンピュータと負荷ユニット間の伝達は無線で行われるため、近くに強い電磁波を発する機器があると誤作動する場合があります。

【ハイドロマグデジタル】コンピューター画面

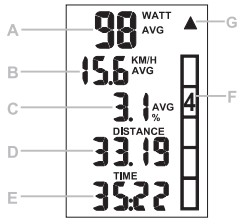
1st 画面（現在値）

A 現在パワー（ワット）
B 現在スピード
C 現在傾斜度
D 走行距離
E 走行時間
F 負荷レベル/負荷調整レバーポジション
G インジケーター
（平均速度以上▲以下▼）



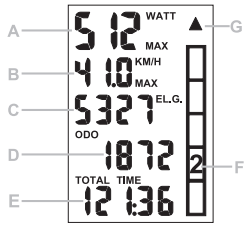
2nd 画面（平均値）

A 平均パワー（ワット）
B 平均速度
C 平均傾斜度
D 走行距離
E 走行時間
F 負荷レベル/負荷調整レバーポジション
G インジケーター
（平均速度以上▲以下▼）



3rd 画面（最大・積算値）

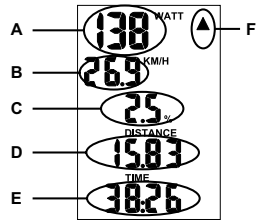
A 最大パワー（ワット）
B 最高速度
C 獲得高度
D 積算距離
E 積算時間
F 負荷レベル/負荷調整レバーポジション
G インジケーター
（平均速度以上▲以下▼）



【ワイヤレス】コンピューター画面

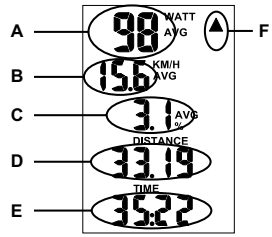
1st 画面（現在値）

A 現在パワー（ワット）
B 現在スピード
C 現在傾斜度
D 走行距離
E 走行時間
F インジケーター
（平均速度以上▲以下▼）



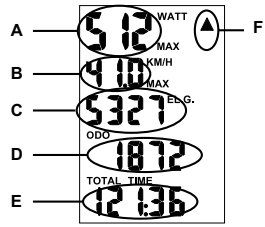
2nd 画面（平均値）

A 平均パワー（ワット）
B 平均速度
C 平均傾斜度
D 走行距離
E 走行時間
F インジケーター
（平均速度以上▲以下▼）



3rd 画面（最大・積算値）

A 最大パワー（ワット）
B 最高速度
C 獲得高度
D 積算距離
E 積算時間
F インジケーター
（平均速度以上▲以下▼）

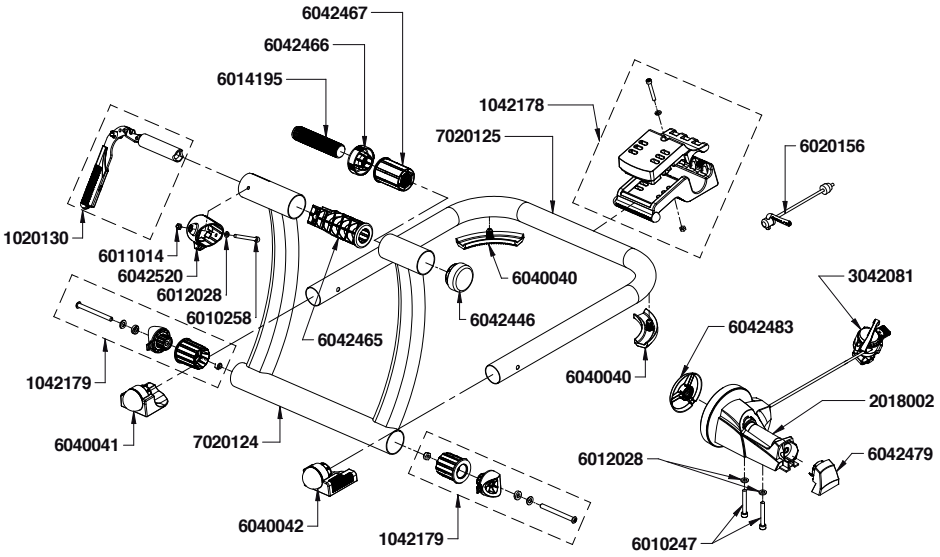


トレーニング中に利用可能なデータ

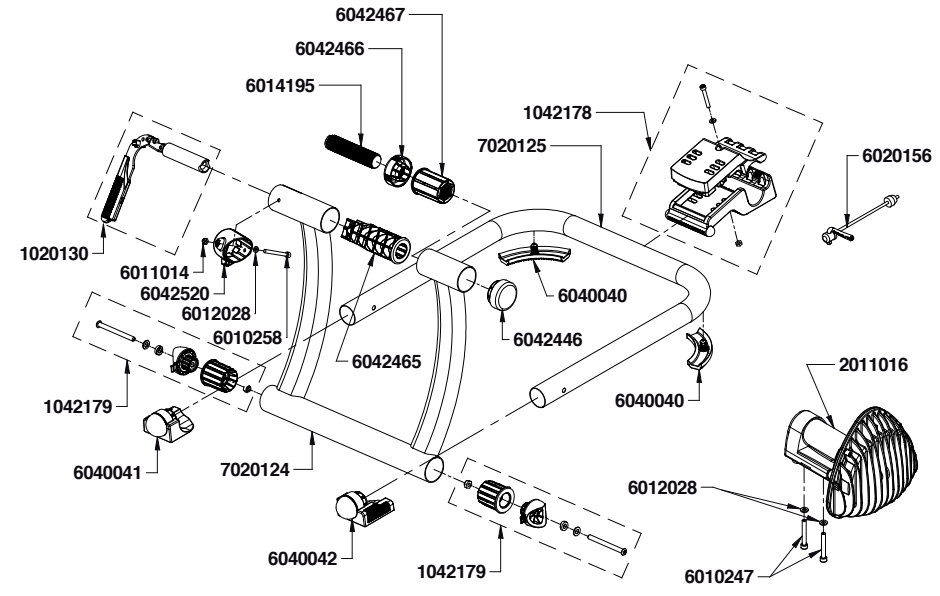
アイコン/画面		インフォメーション
WATT	1	現在パワー（ワット数）：リアルタイムなワット数表示
Km/h	1	現在速度：リアルタイムな速度表示
%	1	現在傾斜度：ライダーの重量と負荷レベルに応じて自動的に算出される傾斜度表示
DST	1 and 2	走行距離：トレーニング開始時からの走行距離
TIME	1 and 2	走行時間：トレーニング開始時からの走行時間
①②③④⑤	1,2 and 3	負荷レベル/負荷調整レバーポジション（スーパークロノハイドロマグデジタルのみ）
▲▼	1,2 and 3	インジケーター ▲▼：現在速度が平均速度より速いとき（▲）、遅いとき（▼）
AVG WATT	2	平均パワー（ワット数）：トレーニング開始時からの平均ワット数
AVG Km/h	2	平均速度：トレーニング開始時からの平均速度
% AVG	2	平均傾斜度：トレーニング開始時からの平均傾斜度
MAX WATT	3	最大パワー（ワット数）：トレーニング開始時からの最大ワット数
MAX Km/h	3	最高速度：トレーニング開始時からの最高速度
ELV.G	3	獲得高度：トレーニング開始時からの走行で得た高度（現在傾斜度を基に自動的に算出）
ODO	3	積算距離：トレーナーを使用した積算距離（スーパークロノワイヤレスのみ）
TOTAL TIME	3	積算時間：トレーナーを使用した積算時間（スーパークロノワイヤレスのみ）
	3	電池残量

※表示されるワット数データは、コンピュータで計算された参考データで、実際の出力とは異なります。

SUPERCRONO POWER MAG CODE: 0092101

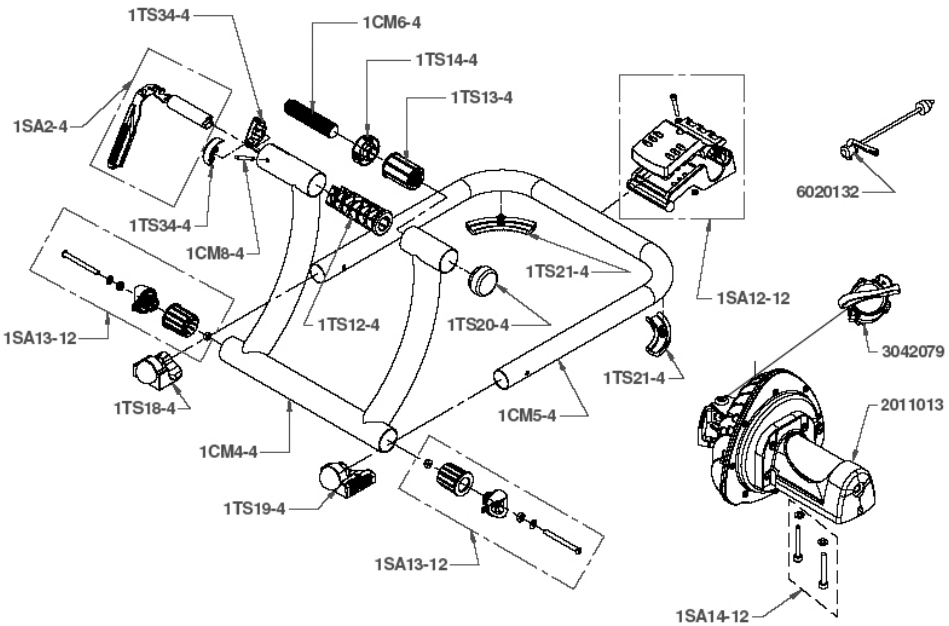


SUPERCRONO POWER FLUID CODE: 0092501

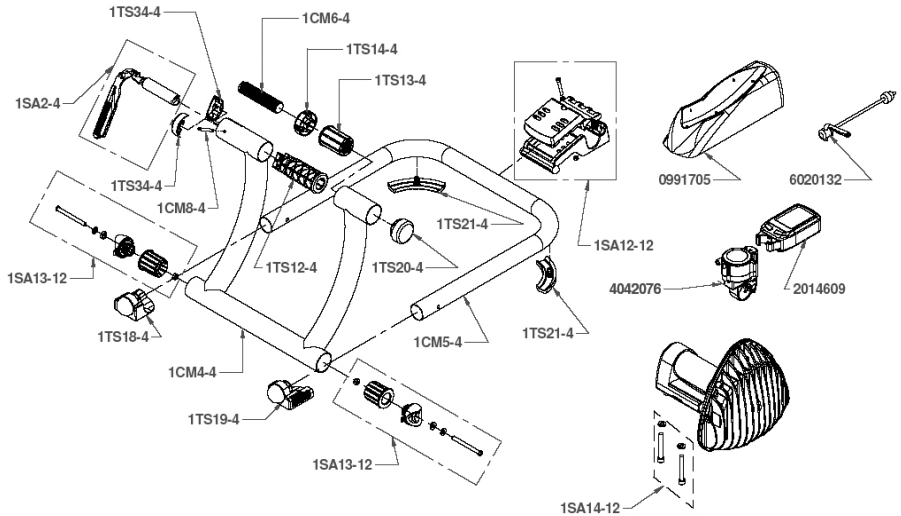


破損などで補修用の部品が必要な場合は、上記補修部品リストで部品番号を確認の上、お買い求めになられた販売店を通じてお申し付けください。弊社に在庫の無い場合はイタリアより取り寄せになりますので多少お時間がかかる場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、価格、納期につきましては販売店にお問い合わせ下さい。

SUPERCRONO HYDROMAG CODE: 0092001



SUPERCRONO WIRELESS CODE: 0093001



破損などで補修用の部品が必要な場合は、上記補修部品リストで部品番号を確認の上、お買い求めになられた販売店を通じてお申し付けください。弊社に在庫の無い場合はイタリアより取り寄せになりますので多少お時間がかかる場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、価格、納期につきましては販売店にお問い合わせ下さい。

品質保証規定

1. 株式会社カワシマサイクルサプライは弊社製品取扱店を通じてお客様が購入したホームトレーナーに対し、購入日より２年間その製品の製造上の欠陥を保証します。ただし、弊社以外の代理店により輸入された製品、並行輸入品について、弊社は品質保証の責を負いません。
2. 保証は以下の場合無効となります。正しくない使用、使用者の不注意、製品に衝撃を与えること、分解、運送中のダメージ、通常使用における磨耗、消耗、劣化、個人用途以外の不特定多数での使用。
3. 製品の修理、交換に際して株式会社カワシマサイクルサプライは運送中の紛失、破損に関して保障は致しません。
4. 保証を受けるためには『カスタマーアシスタンスカード』の全ての項目に正しく記入し、購入時のレシートを添えて製品とともに購入店へ申し出てください。『カスタマーアシスタンスカード』とレシートのどちらかまたは両方を紛失した場合には、保証は無効となります。
5. 株式会社カワシマサイクルサプライは保証の申し出を受けた際に『カスタマーアシスタンスカード』に記載される購入者の個人情報は個人情報保護法に従い取扱いに配慮します。
6. 保証を申し出る際には、不良内容と不良箇所を明記したメモを『カスタマーアシスタンスカード』に添付してください。
7. 商品の技術的、外観上の仕様は株式会社カワシマサイクルサプライの事前の予告無く改変されることがあります。

著作権について

この取扱説明書の一部またはすべてをELITE S.r.l.社の許可無く転載、複製することを禁じます。
本書（日本語版取扱説明書）についての権利は株式会社カワシマサイクルサプライに帰属します。許可無く転載、複製することを禁じます。

イタリア・エリート社ホームトレーナー輸入元
株式会社カワシマサイクルサプライ
大阪府堺市堺区北庄町3-3-16

Nome cliente / Name / Nom du client / Nombre cliente / Naam /購入者名

Indirizzo / Address / Adresse / Dirección / Adres /購入者住所

Telef., Fax, e-mail /電話番号、ＦＡＸ、Ｅメール

In caso di rilievo di difetti contattare il Distributore del Vs. Paese.
In case of defect contact the distributor in your country.
Falls Sie Fehler finden, wenden Sie sich bitte an Ihren lokalen Verkäufer.
En cas de probleme contacter le vendeur ou le distributeur dans votre pays.
En caso de detección de defectos contactar el Distribuidor en su País.
In geval van een defekt neem kontakt op de importeur.
修理・お取扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買い上げの販売店へお申し出下さい。

CARTA DI ASSISTENZA AL CLIENTE
WARRANTY CARD
GARANTIE - KARTE
CARTE DE GARANTIE
CARTA DE ASISTENCIA AL CLIENTE
GARANTIE KAART
カスタマーアシスタンスカード（保証書）

Nome Prodotto / Product name / Produktname / Nom du Produit / Nombre del producto / Produkt naam /製品名

Codice Prodotto / Product item code / Produktkennzeichung / Code du Produit / Referencia del producto / Artikel nummer /製品番号

Problema rilevato / Description of the defect / Fehlerbeschreibung / Problème relevé / Problema detectado / Omschrijving vande klacht /不具合の内容

Data di Acquisto (comprovata da un documento probante) / Date of purchase (with fiscal receipt as proof of purchase) / Kaufdatum (Einkaufsbeleg vorlegen) / Date d'achat (démontrée par un document probant) / Fecha de compra (demostrada mediante documento) / Aankoopdatum. (met bewijs van aankoop) /購入日 (購入の証明となるレシートを添付してください)

Data di Produzione (presente sull'articolo) Date of Production (present on the item) / Herstellungsdatum (ist auf dem Artikel angegeben) / Date de production (présente sur l'article) / Fecha de fabricación (presente en el producto) / Produktiedatum (aanwezig op het artikel)

Nome del Dettagliante / Distributore (presente nell'etichetta dell'imballo originale) / Name of the retailer / Distributor (present on the original carton label) / Name des Händlers / Vertriebes (wie auf Garantiekarte vermerkt) / Nom du détaillant / distributeur (présent dans l'étiquette de l'emballage original) / Nombre del Detallista / Distribuidor (presente en la etiqueta del embalaje original) / Naam van de dealer / importeur (aangegeven op de originele verpakking) /お買い上げの販売店名

スーパークロノシリーズ

NOTE

NOTE

イタリア・エリート社ホームトレーナー輸入元
株式会社カワシマサイクルサプライ
大阪府堺市堺区北庄町3-3-16
Tel: 072-238-6126 email: info@riogrande.co.jp
web: www.riogrande.co.jp

www.elite-it.com
ELITE srl - 35014 Fontaniva (PD) - ITALY - Fax +39 049 594 0064 - e-mail: contatto@elite-it.com